

平成 20 年 7 月 25 日

各 位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先: 経営企画部長 林 毅俊
電話番号: 03-5730-2480

特別損失の発生に関するお知らせ

平成 20 年 6 月中間期において、下記の通り特別損失が発生致しますので、その概要をお知らせ致します。

記

【特別損失の発生理由及びその内容】

(1) 関係会社株式評価損

子会社であるジェノメディア株式会社については、本格的な開発に向けての対象疾患の選定にあたり、本年度に入ってから従来の開発計画を変更したこと、会社設立から既に6年間経過しているものの、明確な進捗が見られていないこと等を考慮し、同社株式については、保守的な観点から評価損として 470 百万円を個別決算で特別損失として計上致します。開発計画の変更の結果、現在は前立腺癌を対象とする癌免疫療法剤の研究開発を中心に事業展開しております。

なお、連結決算上は相殺消去の対象となり、損益に与える影響はありません。

(2) 貸倒引当金繰入額

子会社であるジェノメディア株式会社への貸付金について、同社の今後の資金計画から開発費の確保も現時点では十分にできておらず、当該貸付金の回収可能性が確実とは認められないとの判断から、個別決算で貸倒引当金を 300 百万円計上し、同額を特別損失として計上致します。

なお、連結決算上は相殺消去の対象となり、損益に与える影響はありません。

(3) のれん償却額

連結決算上、子会社株式取得時に取得価額と時価との差額を「のれん」として計上しておりますが、上記の通り、子会社であるジェノメディア株式会社の株式を減損処理したことに伴い、株式取得時に見込まれた超過収益力等の減少を反映するために、連結決算で 71 百万円を全額償却し、特別損失として計上致します。

当中間期における特別損失の内訳と合計は以下の通りです。

(単位: 百万円)

勘定科目	当中間期(個別)	当中間期(連結)
関係会社株式評価損	470	—
貸倒引当金繰入額	300	—
のれん償却額	—	71
合 計	770	71

なお、平成 20 年 12 月期連結業績への影響は軽微であり、平成 20 年 2 月 8 日公表の平成 20 年 12 月期連結業績予想の変更はありません。

以 上